

令和4年6月15日

一般社団法人神奈川県トラック協会 会長 様

相模川・酒匂川水質協議会
会長 高澤 幸夫
(神奈川県公営企業管理者)

水道水源である河川等の水質汚染事故に関する通報の協力について（依頼）

相模川及び酒匂川水系の水質保全や水道事業の運営につきましては、平素から深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

私ども相模川・酒匂川水質協議会は、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市及び神奈川県内広域水道企業団の5水道事業者で構成しており、神奈川県民920万人の清浄な飲料水を守る立場から、水道水源である相模川及び酒匂川水系の水質保全のため、国や県内市町村、関係団体、会社の関係部署への陳情や要望などを行っています。

さて、私どもが水道水源としている相模川及び酒匂川では、毎年、交通事故や燃料タンクの破損などによる油類の流出事故や魚の浮上事故などの水質汚染事故が発生しています。令和3年度は相模川水系で18件、酒匂川水系でも18件の事故が発生しており、そのうち車両関係のものが7件と原因の5分の1を占めています。水道水源である両水系で水質汚染事故が発生しますと、私ども水道事業者は現地に職員を派遣して汚染状況の調査やオイルマットの設置などの汚染の拡散防止措置を行うとともに、浄水場では活性炭の注入量を増やすなど浄水処理を強化する必要があります。さらに水質汚染がひどい場合には河川等からの取水を停止する必要があり、その結果、県民の皆様には十分な量の水道水を供給できずに減断水が生じて社会的に重大な問題となることがあります。

私ども水道事業者としては、安全で良質な水道水を供給するため一層の努力をしていますが、水質汚染事故に迅速に対応するには皆様からの通報が不可欠です。

つきましては、当協議会の活動の趣旨をご理解いただき、交通事故に伴う水質汚染の防止と水質汚染事故発生時の通報にご協力をお願いいたします。

○相模川及びその支川で発生した場合の通報先（24時間受付）

- ・津久井湖（城山ダム）より下流

神奈川県内広域水道企業団 広域水質管理センター

TEL：046-239-0510 FAX：046-239-2819（平日昼間）、046-239-2814（夜間休日）

- ・津久井湖（城山ダム）より上流

神奈川県企業庁 谷ヶ原浄水場（広域水質管理センター サテライト）

TEL：042-782-2626 FAX：042-782-8529

○酒匂川及びその支川で発生した場合の通報先（24時間受付）

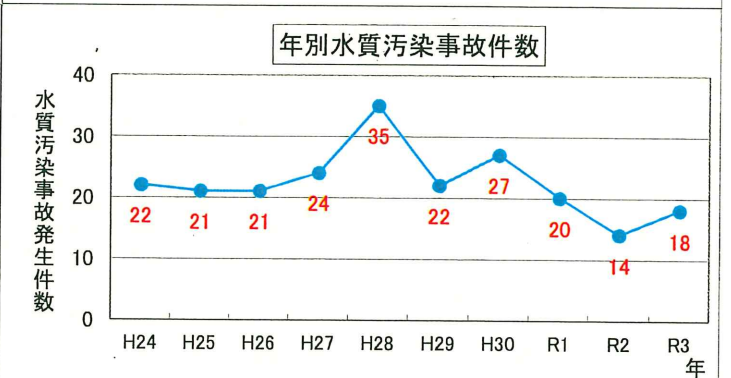
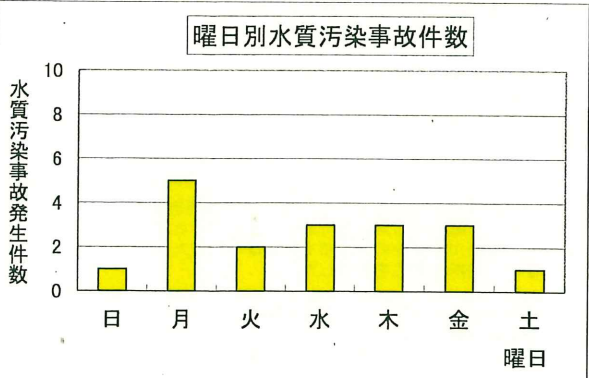
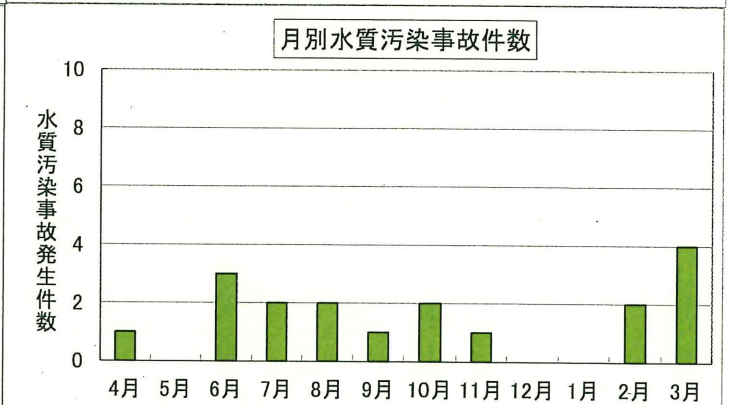
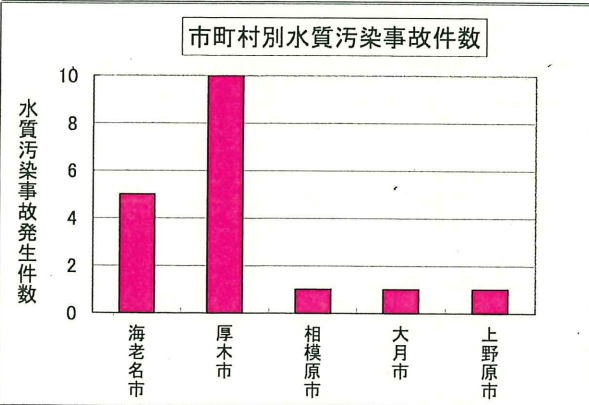
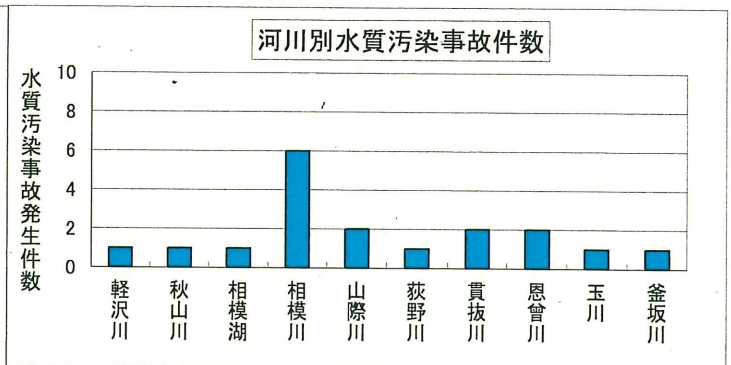
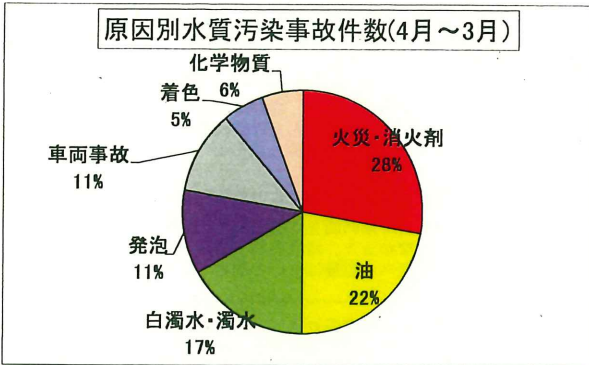
神奈川県内広域水道企業団 飯泉取水管理事務所（広域水質管理センター サテライト）

TEL：0465-48-1102 FAX：0465-47-9232

令和3年度に相模川水系で発生した水質事故一覧

| | 発生日 | 発生市町村 | 発生場所 | 水質汚染事故発生概要 | 水道事業者の対応 |
|----|-------------|-------|------|---|---------------|
| 1 | 4.14 (水) | 大月市 | 軽沢川 | 大月市の中央道中野橋付近でアスファルト乳剤散布中、大雨で一部が河川へ流出したとの情報があり、情報収集を行った。その結果、流出したアスファルト乳剤は10L程度であり、翌15日の現地調査の結果、現地及びその下流とも異常は認められないため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 2 | 6.10 (木) | 上野原市 | 秋山川 | 上野原市の秋山川に車両が転落し若干の漏油があるとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、転落現場周辺に油臭はあるが油膜はなく、下流でも油膜は確認できなかった。臭気試験の結果、現場試料で油臭が確認された。6月14日の調査の結果、転落車両の引き上げを確認、漏油等はなかったため下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 3 | 6.18 (金) | 厚木市 | 山際川 | 厚木市の山際川で油浮遊との情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、右岸側暗渠から山際川への油流入とオイルマットの敷設を確認、強い油様臭を感知した。油の流入と油様臭の強さは徐々に減少し、21日の調査では油の流入、油膜も確認されなかったことから下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 活性炭注入 |
| 4 | 6.25 (金) | 海老名市 | 貫抜川 | 海老名市の貫抜川で油膜浮遊との情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、新橋直下の右岸側排水口から油の流入を確認した。また、消防からマンホール内で油の塊を確認したとの情報を得た。臭気試験結果に異常はなく、その後の臭気監視でも異常はなかった。海老名市がマンホール内の油を除去し、貫抜川で油膜が見られなくなったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 5 | 7.12 (月) | 相模原市 | 相模湖 | 相模湖大橋左岸側からダムに向かって泡のようなものが浮いているとの連絡があったため、現地調査を行った。現地調査の結果、相模湖大橋左岸側及び直下の雨水排水口で発泡は見られなかったが、ダム堰堤下流側では発泡を確認、しかしその下流で異常はなかった。現地及び下流での水質試験の結果も異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 6 | 7.14 (水) | 厚木市 | 荻野川 | 厚木市荻野川で大量の土砂が流れているとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、流量が本川に対して1/10程度の排水路から白い水が流れてきていたが、大量の土砂はなく、魚のへい死等の異常はなかった。現地及び下流での水質試験結果、臭気、pH等異常がないことから、下流には影響はないと判断し対応を終了した。後日、土砂は付近の採石場から降雨の影響で流出したものと判明した。 | 現地調査 |
| 7 | 8.12 (木) | 海老名市 | 相模川 | 圏央道海老名IC付近で車両火災が発生し、泡消火剤（PFOS非含有）を使用したとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、消火排水の排水口では発泡はなく、排水量もほとんどなかった。翌朝、排水口を確認したところ発泡を確認したが下流では見られず、水質試験の結果わずかに界面活性剤が検出されたが、相模川との流量比から下流に影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 8 | 8.23 (月) | 厚木市 | 相模川 | 厚木市で工場火災が発生、泡消火剤を使用したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、火災は鎮火し、使用した消火剤はPFOS非含有のもので、消火排水のほとんどが工場内の貯水槽に溜まっており、河川への流出はないとの情報を得た。下流でも発泡はなく、水質試験の結果、界面活性剤も不検出であったため下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 9 | 9.14 (火) | 海老名市 | 釜坂川 | 海老名市の事業所から水性ペンキが釜坂川に流出したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地排水路及びその下流で白濁がないことを確認、問い合わせの結果、流出したペンキの量は0.7L程度とのことであった。臭気試験の結果、いずれの地点の臭気も異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 10 | 10.2 (土) | 厚木市 | 相模川 | 厚木市の相模川、座架依橋下流で車両が川に水没したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、事故車両からの油の流出等はない模様で、下流で油膜等は見られず、臭気試験結果も異常はなかった。10月4日に事故車両の撤去が確認されたため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 11 | 10.6 (水) | 厚木市 | 山際川 | 定期採水に向かう途中、圏央道厚木PAで焼失した事故車両があったため、その場で厚木消防署員に聞き取りをした結果、冷凍食品を積載した車両が焼失、車載の水と消火器で消火したとのことであった。油が漏出した様子はなく、消火排水の流出先の山際川及びその下流でも異常はなかった。臭気試験結果も沼沢であることから下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 12 | 11.4 (木) | 厚木市 | 玉川 | 厚木市の玉川で白濁が見られるとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現場及びその下流で白濁は確認できず、採水した試料においても外観と臭気に異常はなかった。翌5日も現地調査を実施したが、異常は認められなかったことから、下流には影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 13 | 2.21 (月) | 厚木市 | 相模川 | 圏央道相模川横断部橋上流の中州に車両が取り残されたとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現場に車両は確認できず、厚木消防に問い合わせたところ既に車両は撤去されていた。相模川（三川合流地点）で油膜や冷時臭気、油様臭は確認できず、臭気試験の結果も沼沢臭であったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 14 | 2.21 (月) | 厚木市 | 恩曾川 | 恩曾川で白濁ありとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、白濁は確認されず、冷時の臭気も異常はなかった。現場試料の試験の結果、いずれの地点も臭気、濁度ともに異常はなかった。以上の結果から、下流には影響が無いと判断し、21日の対応を終了した。翌日に行った現地調査でも白濁は確認されず、臭気、濁度に異常はなかったため、下流には影響がないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 15 | 3.6 (日) | 海老名市 | 相模川 | 相模川河川敷で火災が発生していると連絡があり、現地調査を行った。現場は焦げ臭いが、炎は見られなかった。また、現場試料の臭気試験の結果は沼沢臭であった。消火は水消火であり、現場下流の臭気に異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 16 | 3.7 (月) | 厚木市 | 相模川 | 相模川右岸側の水管橋付近で火災が発生していると情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、相模川は消火現場から離れており、消火排水は河川には入らないことが確認できた。また、消火は水消火であり鎮火を確認したため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 17 | 3.22 (火) | 厚木市 | 恩曾川 | 恩曾川温水橋付近で油浮遊との連絡があり、現地調査を行った。現場では、白濁は確認できたが、油膜等は見られなかった。翌日、特定された油の流入地点の現地調査を行った。臭気試験を2回実施したところ、いずれも油様臭であったが、上流からの油の流出は止まっており、臭気は低下傾向にあることから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |

| | | | | | |
|----|-------------|------|-----|---|------|
| 18 | 3.25 (金) | 海老名市 | 貫抜川 | 市立海西中学校東側の西部排水路に洗剤のようなものが流れているとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現場の排水路で発泡は見られず、下流の上一ツ橋でも発泡は見られなかったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
|----|-------------|------|-----|---|------|



令和3年度に酒匂川水系で発生した水質事故一覧

| | 発生日 | 発生日町村 | 発生場所 | 水質汚染事故発生概要 | 水道事業者の対応 |
|----|--------------|-------|------|--|--------------|
| 1 | 4.20 (火) | 小田原市 | 狩川 | 小田原市の栢山排水路で魚が浮いているとの情報があり、現地調査を行った。その後、栢山排水路水門を閉めたことにより、水量が少なくなり、魚へい死に至ったとの連絡を受けた。現地調査の結果、溶存酸素が2.3mg/Lで水量が少なかったため酸欠が魚へい死の原因と推定し、下流に影響が無いと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 2 | 4.22 (木) | 小田原市 | 仙了川 | 小田原市栢山の水路で魚が浮いているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地水路に異常はなく、溶存酸素は6.0mg/L、水量は約0.01m ³ /sであった。下流の仙了川、狩川では異常はないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 3 | 5.7 (金) | 松田町 | 酒匂川 | 新松田駅付近の道路側溝に1~2m程度の油膜状のものが浮遊している情報があり、現場調査を行った。現地調査の結果、道路側溝ではスカム状のものを確認したが下流の松田用水出口では異常がなく、臭気試験の結果、下水臭であったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 4 | 6.4 (金) | 山北町 | 酒匂川 | 峰発電所水車発電機からタービン油6L程度が流出した可能性があるとの情報があり、情報収集を行った。到達時間を考慮し飯泉取水管理事務所で臭気監視を実施、18時まで臭気に異常がなく河川流量が多いことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 情報収集 |
| 5 | 6.18 (金) | 御殿場市 | 小山川 | 御殿場市中畑にて小山川から水田に油が流入し、御殿場市がオイルマット敷設との情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、水田にオイルマットが敷設され、油膜のようなものが少量あるのを確認したが、下流では油膜も認められず、臭気試験の結果異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 6 | 6.18 (金) | 開成町 | 要定川 | 開成町の要定川で少量の油膜が浮遊しているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、要定川に流入する水路の水に油膜があり、現場では油様臭を感知した。開成町が水路出口にオイルマットを敷設し、臭気試験結果では水路とその下流で異常がないため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 7 | 6.21 (月) | 山北町 | 酒匂川 | 山北町の公園付近の水路で魚がへい死しているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、水路や酒匂川では異常がなく、公園の水路から白濁した水が酒匂川に流入し、魚がへい死したとの情報を得た。現場及び下流の水質試験結果に異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 8 | 6.21 (月) | 南足柄市 | 洞川 | 南足柄市千津島の水路が白濁しているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、水路で沈殿物を確認、魚のへい死、濁りはなく、水は滞留していた。臭気試験の結果異常はなく、白濁の原因は固形物であるため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 9 | 6.25 (金) | 山北町 | 丹沢湖 | 丹沢湖湖面に油が浮き、付近にエンジンオイル缶が浮いているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、オイル缶2個、パーツクリーナー1個、ウエスが漂着し、ウエスから油膜が広がった模様との情報を得た。臭気試験の結果、現場丹沢湖湖水、丹沢湖放流口で異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 10 | 7.15 (木) | 南足柄市 | 用水路 | 南足柄市千津島の水路の水が黒くなっているとの連絡があり、現地調査を行った。現場付近の水路は異常がなく、下流でも異常がなかった。水質試験の結果、現場及び下流のいずれも臭気等に異常がなく、南足柄市が実施した水質試験結果も異常がないとの連絡も受けたため、下流への影響がないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 11 | 9.10 (金) | 南足柄市 | 狩川 | 狩川の中部公民館付近で魚が死んでいるとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地上流の用水路から汚染水が流入し魚がへい死したと思われ、現地及び下流にて採水した。水質試験結果、いずれの地点でも異常がないことから下流への影響ないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 12 | 10.15 (金) | 南足柄市 | 狩川 | 南足柄市の暗渠から白濁水が流れているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地及び下流に白濁はなく、臭気試験でも異常がないことから、下流への影響ないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 13 | 11.14 (日) | 小田原市 | 酒匂川 | 飯泉橋付近に車両が転落したとの情報があり、現場調査を行った。現地調査の結果、車両は引き上げられており目視で異常がなかった。消防に確認したところ、スタックしたのは11日の夜で、本日消防に通報があり、14時前に引上げ作業が終了とのことであった。臭気試験の結果、異常がないことから、下流に影響がないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 14 | 11.19 (金) | 松田町 | 川音川 | 松田町の川音川に泡が浮いているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地及び下流において目視で異常がなかった。水質試験結果、いずれの地点も臭気は沼沢、簡易発泡試験は不検出であったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 15 | 11.30 (火) | 小田原市 | 金瀬川 | 小田原市桑原の水路が3~4日前から白濁しているとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、住民の話では1か月以上前から白い堆積物があり、1か月前は白濁していたとのことであったが、現在は白い堆積物はあるが、白濁は確認できなかった。水質試験の結果、異常がないことから、下流には影響ないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
| 16 | 12.23 (木) | 南足柄市 | 狩川 | 南足柄市の狩川に工場排水が流入したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、排水の流出量は600~1200Lであり、工場排水の臭気は芳香臭(2000)であったが、下流は異常なく、飯泉で臭気監視を強化することとし23日の対応を終了した。24日に再度調査を行ったところ排水は止まっており、狩川の臭気に異常がないことから、下流には影響ないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 監視強化 |
| 17 | 2.19 (土) | 御殿場市 | 鮎沢川 | 御殿場市水土野交差点付近でトラックから軽油約100Lが流出し、降雨により流出の恐れありとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、側溝の雨水樹の油は回収されていることを確認した。河川への流出の恐れがないことから、下流には影響ないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |

| | | | | | |
|----|------------|-----|-----|---|------|
| 18 | 3.2 (水) | 山北町 | 河内川 | 山北町中川付近で濁水が流出したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、河内川は人工的に2つに分けられており、流れの速い本川には濁りがなく、もう一つの流れが遅いほうに濁りが確認されたが、その下流では濁りはなく、臭気やpHにも異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。 | 現地調査 |
|----|------------|-----|-----|---|------|

